



TITLE:

# 訂正「水素結合系中の陽子による電気伝導」

AUTHOR(S):

---

CITATION:

訂正「水素結合系中の陽子による電気伝導」. 物性研究 1970, 14(6): 433-434

ISSUE DATE:

1970-09-20

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/88144>

RIGHT:

# 訂正 「水素結合系中の陽子による電気伝導」

東大・理・物理 皆 川 功

( 8 月 1 7 日 受 理 )

Vol 14 - 3 ( 6 月 号 ) p. 210 にのりました「水素結合系中の陽子による電気伝導」に、わかりにくい個所および誤植があり、御迷惑をお掛けしました。訂正させて戴きます。

ページ, 行	元 の 記 載	訂 正
210, 下1	温度が温度に	温 度 に
212, 7	$H_3O^+$ 欠陥がある酸素原子に……と記す。記号 $\alpha$ は……指定するものとする。  一つの $H_3O^+$ がある酸素原子に局在している状態を $\alpha, \beta, \gamma$ と記す：ただし状態 $\alpha, \beta, \gamma$ は $H_3O^+$ がいる酸素格子点のみを指定するのではなく、その $H_3O^+$ の向きおよび氷の中の他のすべての陽子の配列、すなわち水分子の向き、をもあわせて指定するものとする。	
212, 下2	状態は ………	上述の状態は
213, 5	真空とする。 陽子は ………  真空とする。 $a_\alpha^+$ は前述の状態 $\alpha$ の陽子配位のすべての陽子を創出するオペレーターとする。陽子は……	
213, 6	ことから次の関係が	ことから、ある位置に注目すると次の関係が

2 1 3 , 下 2	をまわって, もとの格子点	( 消す )
2 1 4 , 3	移動方向余弦	移動方向の内積
2 1 4 , 4	$(\frac{1}{3})^n$	$R^2 (\frac{1}{3})^n$
2 1 4 , 4	これは ..... 近似である。	ただし R は陽子の移動距離
2 1 5 , 3	を (1) , (3)	を (1)(3) を使って展開する
2 1 6 , 1 0	(21) を使って	(7) (8) を使って
2 1 7 , 7	(分母の) $3 \hbar k T$	$3 \hbar k T$ .
2 1 8 , 1 0	得。	得る。
2 1 8 , 下 3	熱による。	( 消す )